

令和3年度社会福祉法人玄海町社会福祉協議会事業報告書

今年度、玄海町社会福祉協議会は、「第2次玄海町地域福祉活動計画」の基本理念である「人と人がつながり 支え合い 笑顔あふれる 玄海町」に基づき、高齢者、障がい児・者、児童・生徒等幅広い階層を対象とした事業に取り組みました。

未だ、収束が見えない新型コロナウイルス感染症拡大により、人と人が繋がる多くの機会が失われ、本会事業も延期や中止を余儀なくされる中、新しい生活様式に対応しつつ、町内全住民を対象にしたコミュニティバスの運行や、これまで実施してきた介護保険サービスについては、新型コロナウイルスの感染症予防に細心の注意を払い、利用者様が安心して利用できる体制に努め介護事業を継続し、あらゆる階層からの相談に応じる総合相談事業、更には、安全かつ確実に最優先に行う通学バス運行事業にも努めました。また、新型コロナウイルス感染症の影響による、休業や離職等で生計維持が困難になられた方からの貸付相談が多く寄せられ、緊急小口資金および生活再建のための総合支援資金貸付の対応等を行い、相談者の状況に応じた支援を行いました。

社会福祉協議会として、公的なサービスだけでは補完できない部分を民間の福祉団体として支援し、地域住民の皆様の協力で積み上げてきた地域福祉活動を推進するとともに、これまで継続してきた様々な事業を発展・充実させ、人と人がつながり、支え合いの仕組みづくりを進め、社協の組織体制及び経営基盤の維持・強化を図り、地域住民の福祉の増進を図りました。

1. 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会・監事会開催状況

(1) 理事会開催状況 理事定数9名

1) 第1回理事会 令和3年5月31日 (出席9名 欠席0名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和2年度事業報告について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和2年度一般会計歳入歳出決算について

議案第3号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和3年度一般会計歳入歳出補正予算(第1号)について

議案第4号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会評議員の推薦について

議案第5号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

議案第6号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会次期役員候補者の推薦について

2) 第2回理事会 令和3年6月18日 (出席9名 欠席0名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会会長、副会長の選任について

3) 第3回理事会 令和3年12月20日 (出席8名 欠席1名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和3年度一般会計歳入歳出補正予算(第2号)について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会理事の推薦について

議案第3号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会監事の推薦について

議案第4号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会評議員の推薦について

4) 第4回理事会 令和4年3月25日 (出席8名 欠席1名)

議案第1号 玄海町社協ヘルパーセンター (基準該当訪問介護事業等) 運営規程の制定について

議案第2号 玄海町社協ヘルパーセンター (基準該当障害福祉サービス事業等) 運営規程の制定について

議案第3号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和3年度一般会計歳入歳出補正予算(第3号)について

議案第4号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和4年度事業計画について

議案第5号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和4年度一般会計歳入歳出予算について

支出額 78,000円

(2) 評議員会開催状況 評議員定数14名

1) 第1回定時評議員会 令和3年6月18日 (出席12名 欠席2名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和2年度事業報告について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会令和2年度一般会計歳入歳出決算について

議案第3号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会役員の選任について

2) 第2回評議員会 令和4年1月5日 (書面決議)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会理事の選任について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会監事の選任について

支出額 33,000円

(3) 評議員選任・解任委員会開催状況 評議員選任・解任委員定数3名

1) 第1回選任委員会 令和3年6月1日 (出席3名 欠席0名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会評議員の選任について

2) 第2回選任委員会 令和4年1月5日 (出席3名 欠席0名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会評議員の選任について

支出額 18,000円

(4) 監事会

○理事会による予算審議等のため役員会等へ出席

○令和2年度社会福祉法人玄海町社会福祉協議会一般会計決算監査

○理事会・定時評議員会決算審議のため役員会等へ出席

支出額 33,000円

2. 社会福祉協議会組織の強化

(1) 役員研修

例年、玄海町社会福祉協議会の向上発展のため、「行政を頼らない自立した社会福祉協議会」を目指し、福祉の先進地へ視察研修を行って参りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止等に伴い、他県等への往来を控え、佐賀県社会福祉協議会が開催する「社会福祉協議会役員(理事・監事・評議員)・職員合同研修会」への参加や、九州社会福祉協議会連

合会主催による、九州ブロック地域福祉研究会議、佐賀大会が開催され、「地域共生社会の実現への果敢な挑戦」をテーマにオンラインでの開催に出席し、今後取り組むべき活動や求められる役割等について学びました。

(2) 職員研修

職場内研修及び佐賀県、佐賀県社会福祉協議会、佐賀県老人福祉施設協議会等が開催するオンライン研修に積極的に参加し、職員間の意識改革を行うとともに、介護事業における介護サービスの向上並びに組織の強化にも努めた。

- ①職場内職員研修
- ②管理者、係長、主任会議
- ③権利擁護事業に関する研修会

(3) 災害ボランティアセンター運営に伴う職員派遣

- ①令和3年8月豪雨災害に伴う県内被災地へ職員派遣
 - 派遣場所 武雄市
 - 派遣人数 延べ27名
 - 派遣期間 22日間

3. 福祉の風土づくり

(1) 広報活動の充実強化

社会福祉協議会の事業並びに地域活動を広く町民の方に知ってもらい、社会福祉協議会の理解や地域福祉活動の活性化を図るため、年間4回発行し、町内全世帯及び関係機関に配布した。インターネット通信での配信として、ホームページを開設し、幅広く情報提供に努めた。

支出額 386,540円

(2) ボランティア活動の推進、育成援助

将来を担う、児童・生徒・学生が地域の中で福祉教育やボランティア活動に取り組み、他人を思いやる心、相手の立場に立って考えたり共感出来る温かい心、社会連帯の精神を育成、また学校と福祉ボランティア活動とが連携し地域ぐるみで地域の特性に応じた様々な福祉ボランティア活動を推進した。

- ①学校ボランティア育成事業指定校
 - ・玄海みらい学園
 - ・唐津青翔高等学校

支出額 172,000円

②福祉教育・ボランティア活動等支援事業

児童館利用の子供達を対象に、唐津手話の会よりご来訪頂き、聴覚障がい者の方の不自由さについて理解を深め、手の動きだけでも伝えられる言葉、誰でも同じ表示方で通じる言葉、耳が聞こえなくても手話という表現で気持ちや言葉は伝わる。様々な人と関わることで、優しさや思いやりの心を育むことの大切さ、自分にも出来るボランティアについて手話教室等計画をしてたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。

- 令和3年8月4日(金) 福祉体験&工作(佐賀県在宅サポートセンター) 中止
- 令和3年9月4日(土) 手話教室(みどり児童館) 中止
- 令和3年11月24日(水) 要約筆記(みらい学園7年生 53名)

支出額 22,440円

4. 社会福祉活動事業

(1) 共同募金事業

共同募金の趣旨を広く伝えるべく、広報誌等を活用した周知に努めました。また、例年10月に開催される町民体育祭会場での街頭募金活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催が中止となり、県産品を活用した地域職域募金を重点に活動を行いました。民生委員・児童委員協議会をはじめ、町内外の法人、玄海町役場職員、玄海みらい学園・唐津青翔高等学校教職員及び児童生徒、福祉施設等の多大なるご協力をいただき、目標達成に努めた。

(2) 日赤募金事業

毎年5月を「赤十字運動月間」と定め、赤十字の理念や活動を理解・協力していただくための赤十字運動イベント「防災セミナー」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止した。

(3) 募金実績の状況

募金種別	種別	目標額	実績額
日赤募金	一般募金		834,400円
	合計	852,000円	834,400円
共同募金	戸別募金		828,600円
	法人募金		650,900円
	街頭募金		24,983円
	学校募金		34,885円
	職域募金他		265,600円
	イベント募金		0円
	その他		10,505円
	合計	1,190,000円	1,815,473円
合計			2,649,873円

(4) 歳末助け合い募金配分状況（在宅者配分）

一人暮らし高齢者 110人 しめ縄

支出額 111,012円

5. 低所得者階層の更生事業

(1) 生活福祉資金斡旋事業

① 生活福祉資金特例貸付事業 37件

資金名	件数
緊急小口資金	13件
総合支援資金	14件
総合支援金(延長貸付)	4件
総合支援金(再貸付)	6件
計	37件

支出額 353,000円

(2) 町福祉資金貸付事業

生活資金貸付金 0件

6. 児童福祉活動事業

(1) 青少年育成事業

4クラブ、4チームのクラブ活動に援助協力を行い、児童の健全育成に努めた。

クラブ名	人 数
ジュニアバレーボール	10人
剣道	14人
バドミントン	27人
野球	17人

支出額 104,000円

(2) 児童館事業

児童に健全な遊びを与えて、個別的及び集団的指導によって、その健康を増進し情操を豊かにするとともに、「遊ぶ場所」「留守家庭児童の見守る場所」から「育てる場所」としての活動も増え、より有益な体験を提供し、地域における児童の健全育成に努めた。

項 目	さくら児童館	みどり児童館
○児童登録者数	88人 (55家庭)	94人 (67家庭)
○年間来館者数	6,802人	9,061人
○年間開館日数	286日	284日
○一日平均利用者	23.7人	31.9人

学年別利用状況

単位:人

児童館名	未就学	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	未登録他	合 計
さくら児童館	0	2,403	1,302	1,105	961	499	467	65	6,802
みどり児童館	0	2,891	1,589	2,409	741	1,210	210	11	9,061

支出額 27,802,597円

7. 老人福祉活動の推進

(1) いきいきサロン事業『げんき会』

日々の生活の中で、デイサービスに通うほどでもないが、積極的に外出するほどの気力や体力が起きず、家に閉じこもりがちな高齢者等は、孤独や不安、寂しさを抱えながら過ごされている人も多い。この様な方々の社会的孤立感の解消及び自立生活の向上を目的に、歩いていける場所・気軽にふらっと立ち寄れる場所「地域の集いの場所」を利用し、その当事者と地域住民が共同で事業を実施した。

- 年間延実施回数 11回
- 年間延利用人員 113人
- 一回実施参加人員 10.2人

地区名	回数	人数	地区名	回数	人数
長 倉	1回	17人	有浦下	1回	8人
小加倉	1回	8人	座川内	1回	11人
有浦上	2回	30人	田 代	1回	9人
栄	1回	4人	轟 木	2回	13人
諸 浦	1回	13人			

支出額 315,723円

(2) 一人暮らし老人給食事業

町内の一人暮らし高齢者等の心身の健康保持のため、民生委員・児童委員協議会、ボランティア連絡協議会、座川内婦人会の協力を得て、旬の食材を使った手作りのお弁当を配食した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、実施回数を制限し、夏の七夕会、秋のバスドライブは中止とした。

年12回予定	会食会（七夕会）中止
	バスドライブ 中止
	配食 3回
	延配食数 95食

支出額 283,599円

(3) 緊急情報キットの設置

在宅の高齢者や身体の不自由な人達に対する緊急時の迅速な対応として、かかりつけ病院や持病などの医療情報、服薬情報、緊急連絡先などの情報を専用の容器に入れ、家庭の冷蔵庫に保管することで、万が一の緊急時に備え、定期的な訪問の機会をつくり、情報の更新を行うことにより見守り活動の充実を図るとともに、見守られる側の安心の確保につとめた。

(4) 在宅介護者の集い

在宅において寝たきりや認知症の高齢者を介護している家庭の方がお互いの悩みなどを話し合い、交流を持つことでより良い介護の継続がなされるように、また、日頃の介護疲れを癒やして心身をリフレッシュし、ほんのひとときでも「ほっと」してもらい、共に介護者同士の悩みや直面されている問題などの情報交換をしながら交流することを目的として事業を実施した。

第1回目 期 日 令和3年12月26日(日)

場 所 仮屋コミュニティセンター 「フラワーアレンジメント」

参加者 4名

支出額 5,760円

(5) 在宅介護支援センター事業

在宅の要援護高齢者若しくは、要援護となるおそれのある高齢者、又はその家族等に対し、福祉ニーズに対応した各種の保健、福祉サービスが総合的に受けられるよう行政機関、サービス実施機関及び居宅介護支援事業所等との連絡調整を行い、在宅介護などに関する総合的な相談支援に努めた。

相談件数 2,251件

支出額 9,024,266円

(6) 玄海町「食」の自立支援事業

町内に居住する在宅の一人暮らし高齢者等に、栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、地産地消の食材を使用する地元業者の参入も加え、高齢者の安らぎのある生活を支援し、当該高齢者の安否の確認、孤独感の解消を図り、在宅での自立支援に努めた。

○登録者数 49人

(独居36人、高齢者夫婦世帯5世帯、高齢者世帯1世帯 その他4人)

○年間利用者数 3, 324人
 ○年間配食日数 293日
 ○一日平均配食数 11.3食

支出額 4, 842, 463円

8. 介護事業等実施

(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

介護保険法により介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じた適切なサービスを多様な事業者から総合的、かつ効率的に提供されるよう、利用者が可能な限り居宅において有する能力に応じた、日常生活を営むことができるよう、介護支援専門員（ケアマネージャー）が利用者、家族と各介護保険事業所を繋ぐ調整等を行った。

○利用実人数 67人（介護 56人 予防 11人）
 ○延べ利用者数 812人（介護 696人 予防116人）

収入額 8, 878, 110円

(2) 訪問介護（ホームヘルパー）事業

訪問介護員（ホームヘルパー）が家庭を訪問し、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来るよう、食事、入浴、排泄の介助炊事、掃除、洗濯など、ケアプランに基づいた日常生活の手助けを行い在宅福祉の向上に努めた。

（令和4年3月末現在）

自立者	障害者	支援1・2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
1名	2名	7名	2名	2名	0名	1名	0名

収入額 8, 363, 872円

(3) 通所介護（デイサービス）事業

要支援及び要介護認定を受けた利用者が、要介護状態となった場合においても、可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した、日常生活を営むことが出来るよう、食事、入浴、日常動作訓練、レクリエーション等の各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減に努めた。

○登録者数 80人
 ○利用者延べ 6, 334人
 ○実施日数 306日
 ○一日平均利用者 20.7人

（令和4年3月末現在）

自立者	障害者	支援1・2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
2名	3名	19名	11名	15名	5名	2名	0名

収入額 50, 071, 278円

(4) 認知症対応型通所介護事業

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供し、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、通所介護の施設に通い、食事や入浴などの日常生活

上の支援、社会的孤立感の解消や、心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などに努めた。

- 登録者数 9人
- 利用者延べ 894人
- 実施日数 306日

(令和4年3月末現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
登録者数	1名	5名	0名	3名	0名

収入額 11,385,840円

(5) 介護予防・生活支援サービス事業

認知症や介護が必要な状態にならず、住み慣れた地域でできるだけ自立した生活を続けられるよう、体と心の機能を維持・改善するための運動又はレクリエーション等を実施した。

- 登録者数 70人
- 利用者延べ 3,128人
- 実施日数 135日
- 一日平均利用者数 23.1人

支出額 12,809,195円

9. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者や知的障がい・精神障がいなどの理由で、判断能力が不十分な方を対象として、住み慣れた地域での生活を支援するために、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理、利用料の支払い等を行い在宅生活の支援を行った。

(令和4年3月末現在)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
相談・問合せ	15件	35件	2件	52件
利用者数		1件		1件
解約	1件	1件	1件	3件

支出額 436,659円

10. 総合相談事業

地域福祉活動計画に基づいた総合相談事業を実施した。総合相談事業では、玄海町住民を対象に複合的な相談事業を行い、電話だけでなく、家庭等を訪問するなどのさまざまな方法により応じ、各種福祉の提供に関わる援助、調整等を行った。

- 年間取扱件数 782件
- 年間実人員 51人

支出額 10,858,786円

11. コミュニティバス運行事業

日常生活に必要な交通手段を確保し、地域住民の公共交通の活性化を図ることを目的とし、安全かつ確実に最優先に運行を実施した。

- 登録者数(カード発行数) 306人(令和4年3月末)
- 年間利用者数 5,681人
- 年間運行日数 290日

	北部便	南部便	合計
利用者数	2,432人	3,249人	5,681人
運行日数	141日	149日	290日
一日平均利用者数	17.2人	21.8人	19.5人

支出額17,712,000円

12. 公益事業

(1) 児童生徒等送迎事業

玄海みらい学園の児童・生徒の移送を行う通学バス運行業務を町より受託し、安全かつ確実に最優先に事業を実施した。

1) 通学バス運行

- 年間運行回数 2,514回
- 年間利用者数 63,149人
- 年間走行距離数 38,803km

2) 臨時運行

- 年間運行回数 95回
- 年間利用者数 2,404人
- 年間走行距離 3,915km

支出額36,897,000円

13. 収益事業

(1) 葬祭用祭壇貸付状況

	1号	2号	計
貸出件数	1件	3件	4件
貸出料金	11,330円	27,810円	39,140円
超過料金	2,060円	7,725円	9,785円
合計	13,390円	35,535円	48,925円

(2) 葬祭用品販売状況

販売件数 5件 収入額 1,259,280円

14. その他事業

(1) 自動販売機(清涼飲料等)事業

役場内 2台 総合グラウンド 2台 野球場駐車場 1台
 町民会館 3台 あすぴあ 3台 福祉施設 1台
 社会体育館 2台 浜野浦棚田 1台 玄海園 2台 計17台

売上額 1,118,390円